

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>住み慣れた地域での安心した暮らしの中で、利用者の思いを受け止め利用者の意思を尊重し、福祉の心をモットーに自立の支援を、事業所の理念の柱に置いた。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>各フロアに理念を提示し、常に目に付くようにしている。又職員会議には管理者より説明をされているがケアの質を考えたとき、もう少し具体化できる理念かいいと思われる。</p>	<p>理念を具体化を検討する。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族には契約時面会等に伝えている。又運営推進会議時、地域の民生委員や地域住民等に説明を行っている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>開設間もないこともあって、地域との付き合いはまだ少ないながらも、運営推進会議で地域貢献していく必要性を説明している。その結果夏祭りには、町会の方々の参加が多数あり、行事を盛り上げていただいた。又町内よりボランティアが月4回来ていただき、利用者と一緒に歌を歌ったり、コミュニケーションを図ったりと現在交流を持つようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		<p>初めての自己評価にて今後、今回の自己評価と外部評価を元に改善必要なもの等は職員と共に取組んで行き利用者により満足頂けるような支援をして行きたい</p>
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		<p>初めての自己評価にて今後、今回の自己評価と外部評価を終えた後の運営推進会議で報告を行い意見を頂戴しながらサービス向上に活かして行きたい。</p>
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<p>開設間もないこともあり特に、事業を遂行するために分からないことや、疑問点とか保険者に聞きながら連携を取り行っている。今後も継続して行きたい。</p>
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		<p>市社協の地域福祉権利擁護事業福祉サービスが必要と考えられる利用者がいた場合カンファレンスを通じて検討をし、家族と共に検討して行きたい。</p>
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>虐待防止の中でも、身体拘束防止について具体的にながしまのマニュアルを整備して行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
11	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>今後意見箱の設置や苦情解決マニュアルを整備していく。</p>
12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		<p>職員の異動等については報告していないため今後検討必要。</p>
13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>今後意見箱の設置や苦情解決マニュアルを整備して行きたい。</p>
14	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
15	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		<p>職員に必要な人数等出してもらいながら勤務表作成している。又管理者等は利用者の変化に対応できるよう連絡体制をとっている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>16 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>各ユニットの職員を固定化し、顔なじみの職員が対応するようにしている。やむ得ない場合は利用者にも説明し、協力いただき、職員には馴染の関係の必要性を話し構築するよう促している。</p>		
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>17 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修委員会を設け、職場外研修案内は研修委員会に参加有無を検討していただいている。又職場内研修は自らテーマを持ち計画実施している。(年4回)</p>		
<p>18 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>開設間もないためまだ交流は持っていないが、管理者は情報交換が出来ているため、今後サービス向上に反映できるよう同業者と連携を取れるようにしていきたい。</p>		
<p>19 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩場所を設ける等工夫をしている又勤務外での職員同士の交流会を行い、なんでも言える(聞く)ように努めている。</p>		
<p>20 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>資格取得を目指すよう、職員に働き掛けと同時に希望者には出来るだけ講習会に参加できるよう、勤務に工夫をし資格取得できるよう配慮している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	<p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談あった場合は、本人の状態を把握するために事前に面接したり、施設を見てもらい、本人及び家族の施設に対する意向や不安を取り除くようにしている。</p>	
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居相談があった場合は、まず施設を見学いただき、ご本人に必要なサービスが受けられるかどうか、施設の特徴等説明している。又担当ケアマネの意見を充分聞きながら対応している。</p>	
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご本人の意思での入居は数が少ないので、必要以上に馴染みの関係作りに注意する必要あり、職員及び利用者の紹介や、家族に面会依頼をし早く安心できるようにしている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の準備や片付けを職員と一緒に行うことで、利用者の役割でき、互いに認め合う姿勢で対応している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加等促し、家族と共に支援する環境を作りながら、職員ともコミュニケーションをとり信頼関係作りを同じ方向で支援していく努力をしている。		
26 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時、面会の必要性を話し、面会時は家族とゆっくり出来るように居室で過ごしていただいたりしている。		
27 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所等に出掛けることはないが、地域のへの商店等に一緒に買い物等に出掛けている。		ご本人の生活暦等参考にし個別ケアに反映させながら積極的に関わっていけるようにしていきたい。
28 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個別に会話し、相談に乗ったり、役割活動を通じて利用者同士の関係が円滑になる様働きかけをしている。又同じ趣味や嗜好を持つ利用者との交流が出来るよう職員が働き掛けている。		
29 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了時には、いつでも相談に来れるよう働き掛けをしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で、受容的態度で接しながら言葉だけでなく、表情、態度等も観察し、把握に努めている。又意思疎通困難な方には馴染の職員を介して話し、サービス計画書に反映するようにしている。</p>	
31	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前に担当ケアマネからの情報提供とを又入居後の家族とご本人との係わりからアセスメントし記録し、把握する様にしている。</p>	
32	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>介護計画を月1回全利用者の評価及びモニタリングを行い、計画書に反映できるようにしている。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画を月1回全利用者の評価及びモニタリングを行い、計画書に反映できるようにしている。</p>	
34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の遂行状況を常に確認し、変化等があった場合はすぐに見直しを行い、介護計画に反映できるようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>35</p> <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のケースファイルを用意し、必要に応じて個別に排泄、水分量、申し送りノートを作成している。又それらを勤務時に確認しケアに当り、変化等があった場合見直しをしている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
<p>36</p> <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居時のオリエンテーション時家族の意向を聞き対応し、又緊急の通院や外出泊は柔軟に対応している。お盆には外出泊も支援した。</p>		
<p>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</p>			
<p>37</p> <p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>本人と地域との様々な接点を見出す為運営推進会議で検討しながら、行っている。現在は月2回のボランティアを受け入れたり、町会より働き掛けのあった行事に対し参加を検討している。</p>		
<p>38</p> <p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>本人の希望義を取り入れた訪問理容や馴染の床屋さんへ利用を支援している。又訪問マッサージサービス利用している利用者もいる。</p>		
<p>39</p> <p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議には包括支援センター職員の参加は無いものの、何かあった場合は相談が出来る対制となっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や通院はご本人や家族の希望に応じて対応している。又利用前からのかかりつけ医での医療を受けられるようご家族と協力し通院介助を行ったり訪問歯科を受けられる対策をとっている。		
41 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院でも対応困難場合は、家族とも相談しながら専門医を受診できるようにしている。		
42 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者の急変時は、上司にいつでも相談できる対策をとっていつでも駆けつけられるようなしている。		
43 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は、ご本人の支援方法等情報提供し、又必要に応じてご本人を見舞ったり家族と連携を取っている。		
44 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の状態の変化があるごとに、家族と連携を取り、家族、利用者の思いに繋がられるよう支援していきたい。		終末ケアについて施設職員と共に検討し方針を明確にしていく。
45 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族、ご本人の意向を確認し対応していくよう考えてはいるももの、開設間もないこともあり具体的な対応マニュアル等整備はされていない。		ながしまの対応マニュアルの整備。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>46</p> <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>自宅に戻る場合等は居宅サービス計画書の作成依頼等を行い保健、医療、福祉等と連携を密に努めて行きたい。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>47</p> <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日々の関わりの中で不適切と思われる言葉掛けに対してはその都度注意し、プライバシーを損わない対応について説明すると共に充分注意を図っている。</p>		
<p>48</p> <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>行事、レクリエーションの場面でも自己決定を尊重し、無理強いはいしない様になっている。</p>		
<p>49</p> <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の日課はあるが、利用者の急な要望には柔軟に対応している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>50</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>着替えは本人の意向で決めている。自己決定が困難な場合、職員と一緒に考えて本人の気持ちに添った支援をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮向き、盛り付けなど一緒に行い食事作りに参加している意識が持てるよう支援してる。		利用者が希望する献立を取り入れ準備も一緒に行っていきいたいと思う。又昔の懐かしいおやつも一緒に作っていきいたいと思う。
52 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好に関してはまだ完全に把握しきれていないと思われるが、嫌いな物を見つけた際は職員に周知している。煙草については喫煙場所を設定し、他利用者の迷惑にならないようにしている。煙草、ライターは職員が保管している。		
53 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間を決め誘導し、排泄バターをつかみトイレの排泄を促している。		
54 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日の設定はされてはいるが、希望があれば入浴出来るような体制は取れている。		
55 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1人ひとりの生活習慣や体調を考慮しゆっくり休憩が取れるよう支援している。寝付けない方とは飲み物を飲みながら会話をしたり一緒に過ごす配慮をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人ひとりの得意な面で力を発揮してもらえる様お願いし、出来そうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えている。又楽しみを持って頂けるよう利用者と相談しながら作品作り等を行っている。		


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力を得て、少額のお金を持っている人もおり、外出や買い物の際、自分で支払っていただける様な工夫をしている。		
58 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望や気分に応じたり、又季節を感じて頂ける様、日常的に散歩やドライブ等、出掛けられるよう支援している。		
59 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	予め年間行事予定を作成し実施している。又急な要望にも柔軟に対応している。		
60 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務室の電話を使用し、掛けたい時は、いつでもかけられる対制になっている。必要に応じては席を外す配慮もしている。		
61 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は設けてなく、仕事後にでもこれるようにしている。又家族用のマイコップも置いている家族もいる。		
(4)安心と安全を支える支援			
62 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ケアをしていく中で身体拘束に該当するもの等はその都度理解できるよう指導している。基本理念として、身体拘束をしない		拘束のないながしまのガイドラインの整備

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事業所の方針として鍵をかけないケアということで、職員には職員会議等で理解いただいている。又利用者のその時々ニーズに出来るだけ対応し満足頂けるようにしている。		
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者と同じ空間で記録等の事務作業を行いながら、状況を把握する様努めている。夜間は2時間毎の巡視にて様子確認を行っている。		
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者全員ではありませんが、全て取り除くのではなく、利用者の状況に照らしながら嚴重に保管すべき物、そうでない物、使用時に注意が必要な物に分けて管理している。		
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	開設間もないこともあり、避難訓練は十分なものでなかったため、回数を重ねて取り組んでいる。事故報告書は作成すると共に対策等話し合いはしているものの、記録や職員への周知が不足している。		事故対応マニュアルの整備
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応や応急手当のマニュアルを整備し周知徹底を図っているが、いざというときに対応できるように習得が必要		急変時のマニュアルを整備し、対応等について勉強会を行い、全職員が対応できるようにしたい。
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を行い避難経路の確認や消火器の使い方を行ったが行ったが開設間もないこともあり現在回数を重ね訓練を行っている。又地域の協力体制については運営推進会議で協力を呼びかけている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族の面会時はよくコミュニケーションを図り、利用者の生活状況を伝え、その際起こりうるリスクについても家族と共に考えてサービス計画書に反映させ、支援していく。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状況を把握してすると同時に、介護サービスチェック表の記録からや食欲、顔色、様子が違うと思った際はバイタル測定し記録をつけ、上司に報告、指示を仰ぎ受診につなげ、職員間で情報を共有し対応している。		
71 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルを作成、処方箋を保管している。服薬に関しては確認をしている、又薬の用量が変更された場合は記録を取り申し送りを行い次回の受診時Drに報告するよう連携を図れるようにしている。		
72 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘がちな利用者には、家族と相談しながら、乳製品のおやつを提供をしたり、事業所でもおやつのに提供している。		
73 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを自力で出来る方には声がけ見守りし介助が必要な方には洗浄を行っている。		
74 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事摂取量をチェック表に記録し、個別に必要な利用者は水分量も記録している。献立は、併設事業所の栄養士が作成している。食事形態は個別に刻み食等も提供している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関するマニュアルを現在整備中である。		運営に関する基準の定められている衛生管理等に基づき整備する。
76 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	メニューに基づきその都度食材の購入を行い管理している。又併設事業所に業務用食器乾燥機が用意され、それらを借り衛生管理に努めている。利用者の個別のおやつ等は日付を記入しながら保管している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
77 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関横に花を植えてあり、明るい雰囲気になるように、プランターを置いて季節感を出している。又、屋根付の休憩場所があり、テーブル、椅子、灰皿等設置されている。		
78 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	まず喫煙希望者には他利用者に配慮した場所を作っている。食堂にも花を飾り居心地の良い空間を作っている。		
79 共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	まだ不十分であるため食堂の席等決める場合利用者同士の関係性など職員と充分検討し、良い居場所になってほしいと決めている。今後はリラックス空間等にも配慮していきたい。		今後はソファ等を用意するなどし、居心地の良い環境作りを検討していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>80</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タンスや椅子以外にも利用者好みのものや馴染のものを持ち込まれている。時計、花、趣味のものお気に入りの服、今まで使っている湯のみ等々。</p>		
<p>81</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>各居室に換気線、暖房器具があり温度調節が出来る。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>82</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下に利用者の使いやすい高さで手すりを付けている。又トイレは車椅子でも使用できるよう広くとっている。</p>		
<p>83</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>利用者にとって「何がわかりにくいのか」「どうしたら自分の力でやっていけるのか」を常に状況に合わせた環境作りを心掛けている。混乱や失敗が生じた場合、職員一同で話し合い不安を取り除く。</p>		
<p>84</p> <p>建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>裏のスペースに小さな畑を作り野菜等を植えている。玄関先にテーブルと椅子を置き涼んだり、日向ぼっこが出来るようにしている。又喫煙場所にもなっている。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

住宅街にあり、利便性がとてもよい。又町内会の方のボランティアが月2回来園、利用者とともに楽しんでいる。